



# うじたわら町 議会だより

No. 66 2011.2.1

## ●目次

- 議会構成決まる…………… 2P
- ワクチン接種に助成…………… 3P
- 一般質問…………… 4P
- 新成人に聞く(西浦耕平さん) …… 12P

# 第2回 臨時会

# 後期 議会構成決まる

第2回臨時会

平成22年11月15日、第2回臨時会が開催され、後期の議会人事の他、教育委員会委員の任命など4議案(条例関係2件、一般議案1件、人事関係1件)が審議された。

委員会名	職名	氏名
総務産業常任委員会	委員長	田中 修
	副委員長	原田 周一
	委員	青山 美義
	委員	安本 修
	委員	弦川 孝治
文教厚生常任委員会	委員長	下岡 周之
	副委員長	上林 昌三
	委員	今西久美子
	委員	森田 木一
	委員	森山 高広
	委員	垣内 秋弘



議長  
西谷 信夫



副議長  
青山 美義



監査委員  
森田 木一

職名	氏名
京都地方税機構議会議員	田中 修
城南衛生管理組合議会議員	原田 周一
	上林 昌三
京都府後期高齢者医療広域連合議会議員	青山 美義

議会運営委員会

委員長 弦川 孝治

副委員長 下岡 周之

委員 青山 美義

委員 安本 修

委員 田中 修

広報編集委員会

委員長 森山 高広

副委員長 今西久美子

委員 原田 周一

委員 安本 修

委員 上林 昌三

委員 田中 修

## 人事案件

○教育委員会委員の任命同意

氏名 西出 維久雄 氏(郷之口)



任期 平成22年11月26日～平成26年11月25日

【同意 全員賛成】

平成22年度 補正した予算

12月 定例会

今回の補正は、府の基金からの助成を受け、子どもたちを守るための新ワクチン接種事業（242万円）、省エネ型（LED照明）ソーラーライトの設置（1,162万円）、有害鳥獣広域捕獲事業（76万円）、また、国の交付金の追加による公共下水道整備事業（5,100万円）などが計上された。また水道事業において給水収益増加分（799万円）を追加した。

(千円以下切捨て)

会計予算名		補正額	補正後の総額	審議結果
一	般 会 計	4,882 万円	38 億 5,719 万円	可決 全員賛成
国	保 会 計	7,202 万円	11 億 3,400 万円	可決 全員賛成
介	護 保 險 会 計	△ 8 万円	6 億 4,152 万円	可決 全員賛成
公	共 下 水 道 会 計	4,766 万円	7 億 3,779 万円	可決 全員賛成
水	道 会 計	収益的収入	799 万円	可決 全員賛成
		収益的支出	△ 74 万円	
		資本的支出	48 万円	

平成22年第4回定例会は12月9日に召集され、20日に閉会した。補正予算5件、条例制定1件、一般議案1件、人事案件1件が提出され、いずれも原案通り可決した。一般質問には8人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

新ワクチン接種に

全額助成

子どもの細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、女性の子宮頸がんを予防するPHVワクチンの接種費用の全額を助成する。

対象者

- ・ヒブ、小児用肺炎球菌
- ↓0歳～4歳の乳幼児
- ・子宮頸がん
- ↓中学1年生～高校1年生の女子



豪雨による農地を復旧

昨年9月の豪雨によって被災した農地（奥山田大福）の復旧工事を、国の援助を受けて実施する。



人事 案件

○公平委員の選任

氏名 浅田 昭兵 氏（湯屋谷）



任期 平成22年12月22日～平成26年12月21日

【同意 全員賛成】

# 22年度予算の執行の進捗状況は

## 【答】 22年度事業は、ほぼ実施できている

【質問】

景気の回復基調が見えず、町税収入の減少を心配する中、今年度実施事業の進捗状況は。また平成22年度目標の歳入歳出差引収支ゼロを達成できる見込みは。

【答 弁(町長)】

平成22年度の事業については、ほぼ実施できている。平成22年度歳入歳出差引収支ゼロについては、町税や地方交付税の状況など、不確定な要素もあるが、何とか達成しなければならぬ。



田中 修 議員

## 23年度予算概要と重点施策は

### 【答】 6つの重点施策に、限られた財源を効果的・効率的に活用していく

【質問】

景気回復が望めない中、平成23年度予算も22年度より、さらに厳しい状況におかれる。23年度の財政見通しと重点施策はどこに置くのか。

【答 弁(町長)】

依然として厳しい経済環境が予想され、町税や地方交付税の状況、一括交付金の見直しなど、厳しい財政運営を迫られるのではないかと考える。

『地域福祉対策』『健康長寿日本』『安心・安全』『環境対策』『教育環境充実』『産業・観光活性化』の6つの重点施策に対して、限られた財源を重点的に配分していく。財源を効果的・効率的に活用していきたい。

## 落ち着いた学習できる環境作りは

### 【答】 サポート体制を確立していく



【質問】

子どもたち全員が落ち着いた学習できる環境を、学校現場だけでなく、関係機関、PTAや地域住民も含め、構築していかなければならない。学校教育の方向性と考え方は。

【答 弁(教育長)】

小中学校の学力面、生活面の課題解決には、小中連携・一貫教育の中で9年間を見通し、切れ目のない指導を行うことが大切。文科省の「生徒指導提要」には、家庭環境、家庭教育の重要性が指摘され、小学校入学時から学校と地域、PTA、関係機関が連携しサポート体制を築くことは大変重要と認識している。町立小中学校の児童生徒に規範意識が違和感なく浸透していくよう幅広いサポート体制を確立していきたい。



育英橋 (工事中)



垣内 秋弘  
議員

# 予算編成の考え方と 重点施策は

## 【答】財源の効果的・効率的な活用を図る

【質 問】

平成23年度の予算編成は、何を重点施策に掲げ組み立てていくのか。また、自主・自立継続可能なまちづくりをめざしていくためには、安定した自主財源の確保が必要不可欠であるが、どのような計画のもとに確保していくのか。

【答 弁（町長）】

第4次まちづくり総合計画に掲げる「心をつなぎともに創る茶文化のまち」の実現に向け、①住民との協働のまちづくり②次代を切り拓く施策の実施③自主・自立の財政基盤の確立、の3つを基本的な視点として、①地域福祉対策②健康長寿日本③安心・安全の各プロジェクトを重点施策として、限られた財源を重点的に配分していく。  
また、自主財源の確保は三位一体の改革の影響などから平成16年度以降、基

金の取り崩しを続けてきたが、今年度は歳入歳出差引きゼロを目標に取り組みを進めた。この間未来に向けて種をまく事業にも積極的に取り組んできた。今後これらの事業が花を咲かせ、実らせ寄与できるように環

境整備を整えていく。  
【質 問】

【答 弁（町長）】

今後の財政見通しは、依然として日本経済の先行きが不透明な中、当面は厳しい財政運営が続く可能性があると考えている。

## 学校教育のあり方と新教育長の方針は

### 【答】基礎学力の向上と規範意識の醸成を図る

【質 問】

本町における教育のあり方並びに教育方針、新教育長としての決意は。

【答 弁（教育長）】

生徒指導に関わり取り組みたいことは①「児童・生徒の規範意識の醸成」をはかる。②小・中学生に「基礎学力をつけること」で考える力を養い、自ら学ぶことで身につけていく。また、生徒指導上の課題を克

【質 問】

【答 弁（町長）】

服するためには学校における危機管理が重要で、①生徒や教職員の命を守る②学校の日常のリズムを守る③学校や教師、教育行政に対する信頼を守ることを基本理念として取り組んでいきたいと考えている。

【質 問】

【答 弁（教育長）】

地域ぐるみの取り組みの充実による道徳性の育成、小中連携・一貫教育による授業改善、教師の指導力の向上等を共通認識として、学力の充実・向上をはかる教育課程を編成するように学校と連携を取っていき

【質 問】

平成23年度から実施される新学習指導要領への移行にあたって、問題、課題の整備は万全か。

【答 弁（教育長）】

いじめ問題及び学校規律についての実態と今後の対応策は。  
【答 弁（教育長）】

いじめ問題は教師間の連携を密にし、いじめを許さない学校づくりに努める。規律違反等については学校現場へ出向く姿勢をもち、把握を的確にし改善策を探る。



教育委員の学校訪問（田原小学校）

一般質問

# 今こそ「子どもの権利条約」を

## 【答】 尊重し対応していきたい



今西久美子  
議員

### 【質問】

教育長は、宇治田原町の教育行政において具体的課題をどう認識し、それに対してどう対応されようとしているのか。

### 【答 弁(教育長)】

①学力充実、②生徒指導、

学習規律、③教職員の服務

関係、④地域との連携など、多くの課題はあるが、学校現場と協議を重ね、よりよい学校となるよう努力していきたい。

### 【質問】

国連子どもの権利委員会

は、日本の子どもを取り巻く環境を厳しく批判し、40項目以上の是正勧告を出した。今こそ「子どもの権利条約」を教育行政に生かしていくことが重要では。

### 【答 弁(教育長)】

子どもの権利条約は、生きる、育つ、守られる、参

加するという4つの子ども

の権利が定められている。本町の教育推進に当たり、尊重し、対応していきたい。

### 【質問】

教職員の勤務の実態調査の実施を。

【答 弁(教育長)】  
現状把握のためにも必要であり、前向きに取り組む。

### 【質問】

【答 弁(教育長)】  
学力充実や生徒指導への対応、教職員の超過勤務の解消等のためにも、教職員の増が重要。専科教員の導入、加配教員の増員など、府に対して要望を。また町独自の補助教員は、来年度も引き続き配置を。

も多くの教職員の配置を願っている。加配等引き続き府へ要望していく。独自の補助教員は、平成23年度も、引き続き要望している。

### 【質問】

教育長には現地・現場主義を貫き、学校だけでなく、

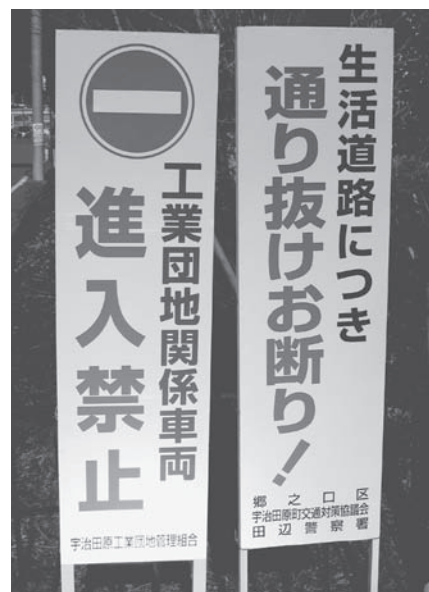
【答 弁(教育長)】  
学校教育のさまざまな場面に足を運び、自分の目で見聞きし、感じた上で、今後の教育行政を推進していただきたい。

### 【質問】

【答 弁(教育長)】  
学校、社会教育のさまざまな教育行政推進のため、できる限り現場へ出向き、声に耳を傾けることを念頭に対応していきたい。

## あと一歩の交通安全対策を

【答】 一層の啓発活動に力を入れていく



設置された啓発看板(郷之口)

### 【質問】

この間、町の交通安全対策協議会や郷之口区、工業団地管理組合による看板の設置や啓発など積極的な取り組みもあり、朝の通勤等による生活道路の通り抜け車両は減少した。ただ、まだスピードを上げて走り抜ける車があり、危険な状態。あと一歩のさらなる対策を。

### 【答 弁(総務課長)】

これまでから町交通安全対策協議会や地元郷之口区、工業団地管理組合などが啓発看板を設置するなどの取り組みを行ってきた。交通安全対策は、ドライバーのマナーや意識にかかわることが大きい。今後とも

お一層の啓発活動に力を入れるとともに、今後とも引き続き関係機関とも連携し、安全対策に取り組んでいく。



森田 木一  
議員

## 町長の政治姿勢は

### 【答】「極」国、社会、住民の動向を見極める

【質問】

昨年8月に政権交代が行われたが、本町にはどのような影響があったのか。

【答 弁 (町長)】

昨年8月、歴史的な政権交代が行われ、1年と4ヶ月が過ぎようとしている。本町においても、その影響を受け、子ども手当の財源捻出のため、国の予算が見直され、宇治田原小学校の電子黒板への補助金が認められなかった。子ども手当支給に関して、地方の負担はないと言っていたが、負担を強いられた。



### 政権交代による 本町への影響と対応は

【答】子ども手当にて負担を強いられた

【質問】

本町の対応は。

【答 弁 (町長)】

地方6団体をはじめ、地方の声を政府や民主党に

し強く訴える行動の成果があつて、小学校の空調設備導入事業に補助金の追加交付が出た。

### 民主党政権の評価は

【答】自覚して国政にあたっているのか疑問

【質問】

9月に全国市町村首長アンケートが行われたが、その評価と町長の思いは。

【答 弁 (町長)】

政権への評価は期待した実績は不十分が76%。

地域主権改革に関して、政府の推進体制が不十分で期待できないが49%。

一括交付金に關しても、補助金総額より、一括交付金が減少するのではないかが65%であり、どの市町村の首長も同じ思いである。

【質問】

民主党政権の評価は。

【答 弁 (町長)】

政権交代により、官僚主導から政治主導に、事業仕分けによる特別会計への切り込み、歳出の削減も図られ、評価できる部分もある

が、閣僚間の政策の不一致

外交問題への対応、問責決議を巡る争いなど、政権政党として未熟さもあり、自覚して国政に当たっているのか疑問を感じている。

【質問】

町長はこの1年をどのような文字で表すのか。

【答 弁 (町長)】

この1年は不安定要素が非常に大きく、いろんな変化が出てきており、この先の見通しがつかなかったと思っている。

これからは国や社会の動向、住民生活の動向をしっかりと見極めていく必要がある。見極めるの「極」という字が、今年1年の一番大きな視点ではなかったかと思っている。



空調設備 (宇治田原小学校)

# 学校給食に宇治田原産米を

## 【答】 供給量が少なく、難しい

【質問】

来年度予算の具体的施策として、子どもの医療費の

中学卒業までの無料化は、

町長の重点公約であり住民からは一刻も早い実現が待たれている。いつ実行するのか。

【答 弁（企画・財政課長）】

子育て支援医療費の無料化拡充は、国で議論が進め



宇治田原の美味しいお米を給食に

られており、国の動きを十分見きわめ、内容と時期を検討したい。

【質問】

「国の動きを見ながら」では消極的すぎる。住みやすく、子育てしやすいまちづくりという点からソフト面での種まきが大切ではないか。



安本 修  
議員

【答 弁（企画・財政課長）】引き続き、慎重に検討する。

【質問】

農地の保全、安全な食料の確保という点から、米作り農家は大変重要な役割を果たしている。今年は米価の大暴落に加え、有害鳥獣対策にかかる費用も増え、米作りへの意欲はなくなる一方である。近隣市町で実施されているが、本町としても支援する考えはないか。学校給食に町内産米を活用すれば、農家への支援と同時に、子どもたちにおいしい宇治田原の米を食べさせることができる。どのようなふうに考えるのか。

【答 弁（産業振興課長）】

学校給食には4年前から「こだわり米」として山城産米（ヒノヒカリ）を使用している。町内産米はキヌヒカリが大半であり、こだわり米の生産量が足りない

ので、難しい。

【質問】

米飯給食は、「府内産米」から始まり、地元のおいしい安全なお米をという農家や住民の声の高まりで「山城産米」を使用するようになった。さらに水のきれいなところでとれる「宇治田原産米」が給食に使われたら、米作り農家の励みにもなり、また子どもたちの食に対する教育にもつながる。難しい問題はあるが、

## 立川平岡の環境改善を

### 【答】 早急に撤去するよう指導する



お茶のまちにふさわしい景観に

【答 弁（教育次長）】

町職員と農家の連携で実施できるよう検討すべきである。これこそゼロ予算の精神である。どう考えるのか。

町内産米の直接の供給は今後J Aとの十分な協議が必要である。

【答 弁（建設・環境課長）】

これまで移転に向けて指導してきたが、実行できていなくて、遺憾に思う。

【質問】

3年前に「町をきれいにする条例」が制定されたが、これをさらに発展させ、お茶の町にふさわしいまちづくりを進める上で「景観条例」を考える必要はないか。

【答 弁（建設・環境課長）】

【質問】 立川平岡の環境対策は、昨年の質問で指導すると約束したが、改善されていない。仮橋の期限もすぎている。どうなっているのか。

お茶の町にふさわしい景観がどうあるべきか、これを守るにはどうすればいいか、条例制定も含めて考えていきたい。





上林 昌三  
議員

## 維中の学校運営は 正常と言えるのか

【答】現在は代替講師により対応している



【質問】  
学校は、基本的に活力ある教育環境の整備をすることによって、生徒たちには規範意識を持たせ学力向上を図らなければならない。ところが、2学期に入ってから肝心の教師が病欠を理由に、数学・技術・美術学級担任) 担当教師に休養者が出ており、定員を満たしていない。教科によっては、実際数十日間も教師がいな

い日が続いたり、学年主任が学級担任を兼務するという現状で、その間、非常勤教師、補助教員により授業が行われているなど、現場では大変混乱の様相を呈していると聞いている。  
また、一部に見られる「問題のある子ども」に対する指導にも、教師不足が影響していないか。このような状態で正常な学校運営ができていえるのか。教

育委員会として、さらに教育現場に向き、本町唯一の中学校が一日も早く正常な形になるように、いっその努力が必要ではないか。

【答 弁 (教育長)】

今回の教師の病欠については、急な発症であって、学校現場においても大変苦慮した。教育委員会としても早急に学校と共に山城教育局へ代替講師の依頼を行うなどした結果、現在では欠員になっている教科担任はいない。また、講師が確定しない時期における生徒指導については、全教職員が校務分掌をもちながら授業の空き時間を生徒指導にあて対処している。

【質問】

現在一人の補助教員が入っているが、今の校内の状況から、もう一人の増員が必要と思われるが。

【答 弁 (教育長)】  
現在、町単独予算で学力充実補助教員を小・中学校に一名ずつ配置し、学校現場では役に立っている。中学校の補助教員の増員については、現在のところ難しいが、今後検討する。



# マーケティング研修の導入を

## 【答】 町単独より

### 府の共同研修の方が効果的

【質問】

宇治田原町が単独で生き抜くには、「住んでよかつたなあ」と思えるまちのような、他の自治体との違いや、町の独自性も重要になってくる。そこで、ぜひ比較的導入しやすいマーケティング研修を宇治田原町単独で行ってみたい。

【答 弁（総務課長）】

マーケティング研修は、市町村等へのアンケートや企画運営委員会（市町村等の研修担当者や専門家で構成）の検討の結果、優先順位が低く、共同研修の体系に含まれていないが、色々な研修の中で取り入れられている。

【質問】

町長は、マーケティング研修の必要性についてどう考えているのか。町長の思いや考えをもっと職員に浸透させるには、この研修はかなり有効だと思うが。

【答 弁（町長）】

職員の能力の向上、資質を高めていくということは非常に重要。町単独で行うより、京都府下の市町村が連携して、用意されたメニューから、必要な項目を選択して受研をしていくほうが非常に効果的と考える。また、現在でもマーケティングの考え方を導入した研修を受け、それを職場に持ち帰り、職場で広めて

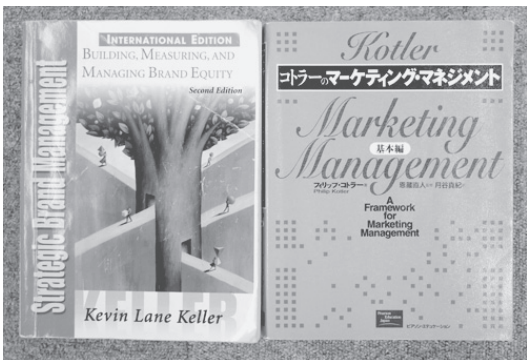


森山高広 議員

いる。

マーケティングの概念を取り入れた行政を進めたいくというのは、一つの研修のテーマだが、本町では、宇治田原のいわゆる歴史と伝統、文化に培われた地域力、いわゆる住民パワー、

こういうものを生かして協働のまちづくりをしていくということ、民間でいう顧客と直接という一方通行ではなくて、双方向で対話という直接対話方式を選択しているところである。



用語解説 \*1…SWOT分析とは

内部環境分析によって導かれたS（強み）とW（弱み）、外部環境分析によって導かれたO（機会）とT（脅威）をそれぞれの頭文字をとってSWOT分析と呼ぶ。SWOT分析は経営環境の把握や戦略の策定のために非常に有効な手法である。

表1

	プラス面	マイナス面
内部環境	<b>強み</b> ●地域全体で子供を支え、育てること	<b>弱み</b> ●日本人特有のコミュニケーション能力の不足
外部環境	<b>機会</b> ●開かれた学校運営をめざす上からも大いに活用していくことが大切	<b>脅威</b> ●特に無し

表2

	プラス面	マイナス面
内部環境	<b>強み</b> ●安全な環境 ●設備面の充実	<b>弱み</b> ●ソフト面 ●中学校のイメージ ●小学校の学力
外部環境	<b>機会</b> ●地域全体で支える環境（中学校は活かせず）	<b>脅威</b> ●ほかの中学校（特に私立中学校）

【質問】

教育の現状の分析は。SWOT分析(\*1)で説明を。SWOT分析は行っていいが、分析項目を見て考えられることは、左の表1の通り。

【質問】

私の考えるSWOT分析は左の表2の通り。現状ではSWOT分析にもっと時間をかける必要があるので、質問の続きは次の議会に行う。

## 教育環境の現状分析は

【答】 留意して行っていきたい



原田周一  
議員

# 学校現場への支援体制は

## 【答】学校と連携し、支援策を考えたい

【質 問】

教育長は、最近まで学校現場に勤務されていたが、本町中学校の現状をどのように感じているのか。

【答 弁（教育長）】

ごく一部の生徒による問題事象が発生しているものの、学級崩壊等は起こっていないと認識している。

【質 問】

山城管内の他中学校と比べると維孝館中学の評価はどうか。

【答 弁（教育長）】

独自性をもって運営しているため比較は難しいが、

綴喜地方において、上位に位置していると思う。

【質 問】

現場の先生方は情熱をもって意欲的に対応されていると思うが、父兄の間では必ずしも、そのように受け取っていない声も聞かれる。情熱を持って対応している先生方のバックアップが最重要と思うが。

【答 弁（教育長）】

全職員の共通理解、共通行動を通して指導体制を組織的に確立し、きめ細かく指導を行っているが、保護者には学校現場の状況が

まり伝わっていないのが現状。

【質 問】

教育委員会としての学校現場へ支援できる体制が必要と思うが。

【答 弁（教育長）】

教育委員会としてできるもの、京都府へお願いする事項、地域へお願いする事項等のケースがあるが、学校との連携で良い支援策を考えたい。

【質 問】

スクールサポーター等の導入の検討などもその範囲と思うが。

【答 弁（教育長）】

田辺署管内の1市2町の小・中学校に計画的なパトロール等により問題行動の未然防止・生徒指導に役立ったと聞いている。保護者への周知等も行い、田辺警察署など連携を図りながらサポートしていく。

## 工業団地の異臭問題のその後は

### 【答】管理組合で対策協議会を立ち上げた

【質 問】

3月議会でも取り上げたが、工業団地からの異臭対策について、今日までどのような進捗状況があったのか。

【答 弁（建設・環境課長）】

工業団地管理組合と協議の上、管理組合内に対策協議会を立ち上げ、6月から

9月にかけて計3回開催した。脱臭装置設置後、相当の年数が経過するものにあつては更新の必要性があり、1年以内に対応しているだけの予定である。

【質 問】

緑苑坂テクノパークは、騒音・異臭・廃水の問題の起こらない企業が立地され

るとの説明が開発業者からあつたが。

【答 弁（建設・環境課長）】

本町の環境保全基準の値をクリアしていることを大前提として審査している。操業後も定期的な環境基準の報告を義務化している。

【質 問】

具体的に指導した例は。【答 弁（建設・環境課長）】 建築改造や触媒装置などの早期改善を指導した。



教育委員会事務局



緑苑坂住宅地



消防団出初式



高尾地区「緑たたき」



新年のつどい



# 直撃インタビュー



新成人代表

にしうら  
**西浦**

こうへい  
**耕平**

さん

「自立した社会人として、日々歩んでいきたい。」と成人のことは述べた新成人代表、西浦耕平さんにお聞きしました。

Q 20歳になつての感想は。

A 若いエネルギーで暗い世の中に立ち向かっていきたい。

Q 選挙権が与えられるが。

A 棄権せずに、自分の一票を大事に、投票所

へ行きたい。

Q 尊敬する人は。

A 尊敬と言うよりは自分を生んでくれた両親に感謝したい。

Q 20歳になつてうれしいことは。

A 両親と酒を飲みながら、楽しく会話できること。

Q 大人になつた町民としての思いは。

A 4歳の時から始めたサッカーは、14年の経

験があり、サッカーを通じて、後輩の指導者として地域に恩返ししたい。

Q 成人代表挨拶の中で「絆」ということを述べられましたか。

A 自分は決して1人ではないことを胸に、自分たちの行動に自身と誇りを持ち、自立した社会人として、日々歩んでいきたい。

経済不況、環境破壊、暗いニュースばかりが聞こえてくる今日、若い力で明るい未来を切り拓いていく一員になれるよう、これまでの感謝の思いを込め、努力していきたい。



広報編集委員

森山

広報編集委員長

ご意見、ご感想をお待ちしています。今年もよろしくお願いいたします。

## 後記

今号の議会だよりから、新しいメンバーで編集しています。今後、新しいデザイン・レイアウトを導入し、より読みやすくしていく予定です。